

平成17年度予算に対する各会派の見解

新しい展望を切り開く年に

公明党議員団

平成17年度の一般会計予算は、15億円の財源対策を必要としたことに見られる様に、依然として、収入に見合った支出とすることが出来ていません。歳入、歳出の両面からの改革に引き続き取り組む必要があります。

その様な中でも、区民のために我が党が要望した小学生の入院費を無料とする子ども医療費助成制度の創設、産後支援ヘルパー派遣事業、私立幼稚園の保護者補助費の増額、学校情報

事業部制の検証を

自由民主党・民社クラブ

平成17年度一般会計予算は、874億3700万円、減税補てん債の借り換え分を除いた実質予算は5.5%の増です。

主な事業計画の中の、区民保養施設シエモア(仙石)の民営化、高齢者住宅サービスセンターの民営化、新バス路線の開通支援(上鷲宮・鷲宮地区)等は評価されるものです。

いのち、くらしを守る区政を

日本共産党議員団

区民のくらしが、3年前に比べ課税所得で12万2千円も減少する中、自公政治はさらに年金改悪や、配偶者特別控除の廃止まで強行区もこれまで「ゼロペー

スからの見直し」「官から民へ」と、行政サービスを低下させ、新たに成人健診を有料化しました。介護保険の訪問介護利用料助成を国に頼って打ち切り、保育園の民営化を進め、さらには、区民合意を無視し、警察大学校等跡地に高層ビルを林立させる大規模再開発を押し進めています。

効率的な区政運営を目指せ

TOKYO自民党中野区議団

17年度予算は、16年度と比較して、2.2%減ですが、減税補てん債の借り換え分を除いた実質比較では5.5%の増となっています。しかし、依然として厳しい財政状況が続いています。

歳入については、区民に公平な負担を求めるため、積極的に歳入確保に努め、公正な区政運営に支障をきたさないようにしなければなりません。この点でも、積極的に民間活力の利用を検討し、また職員の知識

区政の将来像を明確に!

民主クラブ

引き続き厳しい財政状況が続く中、平成17年度予算では、将来の安定した財政基盤を確立するため、当初予算の段階から、財政調整基金や減債基金の積み立てを行い、また区立小・中学校の再編に伴う施設整備に備え、義務教育施設整備基金への積み立ても行いました。

個別の施策では、民主クラブが強く求めていた、校庭の芝生化や、窓口案内フロア・マネージャーの実施など、環境面や、区民サ

工夫が生きない足踏み予算

無所属の会

03年度決算に外部評価が加わり、まがりなりにも「計画 実行 評価」がなされ、次の段階として改善策を盛り込んだ予算案が示されるべきでした。

しかし、05年度予算は必要な印刷物や外部委託費事業のコスト削減の努力も見られず、従来型の予算となっています。

次世代へ責任果たす区政を

市民自治

05年度、財政調整基金から約15億6千万円を取り崩すほど、依然として厳しい財政状況の中でも、就業支援事業、産後支援ヘルパー派遣、虐待防止策の強化、うつ病や引きこもりへの相談事業等の現代的課題への対応、さらに民間法人による知的障害者通所施設やグループホームの整備支援等

05年度は新しい中野をつくる基本計画策定の年です。次世代に引き継げる区政に

@ 区議会各会派のEメールアドレス @

公明党議員団	komei.nakanokugikai@mbg.nifty.com
自由民主党・民社クラブ	jimin.nakanokugikai@mbg.nifty.com
日本共産党議員団	jcp.nakanokugikai@mbg.nifty.com
TOKYO自民党中野区議団	tjn.nakanokugikai@mbg.nifty.com
民主クラブ	min-ku.nakanokugikai@mbg.nifty.com
無所属の会	mushozoku.nakanokugikai@mbg.nifty.com
市民自治	siminjichi.nakanokugikai@mbg.nifty.com